

生産量アップと稼働時間の短縮を両立

愛媛プレカット 株



愛媛プレカット 株

愛媛県をメインに四国エリアへプレカット材の供給を行っている愛媛プレカット株式会社(愛媛県松山市、鶴居美香子社長)は平成4年に創業、今年25周年を迎える。同社は創業当初から積極的に部材加工の機械化を推進しており、受注数の増加と共に加工機・従業員の数を増やし、生産体制の拡充を実施。現在の生産設備は横架材加工1基、柱材加工2基、羽柄材加工3基、合板加工2基、四面モルダ1基、プレーナー2基が導入されている。

同社は敷地面積が約5,700坪、建物面積が約2,500坪で、従業員数は60名。工場稼働のオペレーションは20時間操業の2シフト制となっており、1日あたり平均230坪、月あたりで平均5,000坪となっている。さらに、繁忙期には24時間稼働にシフトチェンジすることで最大6,000坪(月あたり)のプレカット材が生産可能。昨年度の全生産量は約6万坪(前年比4%増)に達しており、その生産能力は四国エリアで最大規模となっている。

同社では既存の横架材加工ライン(MPS-V8)が

更新時期を迎えたことに加え、柱材加工ラインを2ライン体制にするため、昨年末から今年初めにかけて新たな加工機の入替え・新設を実施。柱材加工ラインは昨年12月から、横架材加工ラインは今年1月からそれぞれ稼働を開始させている。

圧倒的な生産能力を持つ構造材ライン

新たに加工機を導入したのは第一工場の横架材加工ラインと柱材加工ラインで、いずれも宮川工機製の加工機となっている。横架材加工ラインには全自動横架材加工機MPS-VX05BPWW(MPS-15、MPS-15B、MPS-24A、MPS-24B、MPS-45×2台、全て8m仕様)を既存機からの入替えで導入。柱材加工ラインには全自動柱材加工機MPS-34(9m仕様)を新規導入したほか、既存の同型機を9m仕様から6m仕様に改造した。なお、今回の入替え・新設により、両ラインともに金物工法への完全対応が可能となっている。横架材加工ラインについては、設置